

BELLUNA

お客様の衣食住遊を豊かにする

BUSINESS REPORT



株式会社ベルーナ

第48期

株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日





国外情勢悪化の長期化、
資源高騰や円安進行など
依然として先行き不透明な状況が続くものの、
ホテル展開を軸としたプロパティ・ホテル事業と
専門事業領域の成長を優先し、
安定的な拡大を進める。

代表取締役社長 安野 清

当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の収束により正常化が進み、国内の外出需要や円安を背景としたインバウンド需要の回復により消費活動が活発化する一方で、国外情勢悪化の長期化、資源価格の高止まりや円安進行による物価の上昇など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当期の概況

当連結会計年度の売上高は2,083.0億円（前年同期比1.9%減）となり、営業利益は97.9億円（同12.7%減）、経常利益は118.3億円（同5.0%減）となりました。また、

投資有価証券売却益が前年同期より増加した一方で、減損損失が発生したことなどにより親会社株主に帰属する当期純利益は58.4億円（同21.3%減）となりました。

財政状況に関しまして、資産合計は、前連結会計年度末比151.0億円増加し、3,006.9億円となりました。これは主に、現金及び預金が37.3億円、営業貸付金が23.7億円、建物及び構築物が215.6億円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比53.5億円増加し、1,645.1億円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が50.0億円、長期借入金が131.0億円、リース債務が21.1億円増加したことによるものであります。

財務ハイライト（連結）

売上高	2,083.0億円（前年同期比1.9%減）
営業利益	97.9億円（前年同期比12.7%減）
経常利益	118.3億円（前年同期比5.0%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	58.4億円（前年同期比21.3%減）

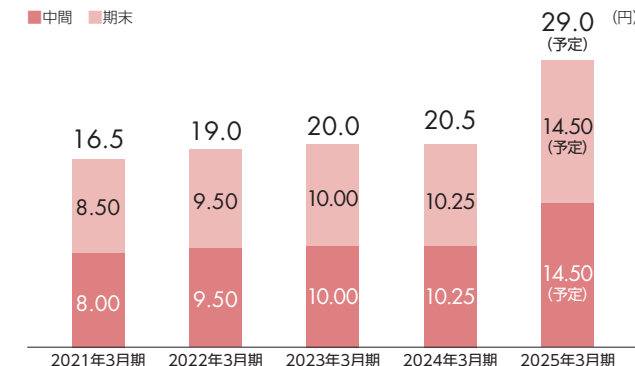
一方、純資産合計は、前連結会計年度末比97.5億円増加し、1,361.8億円となりました。この結果、自己資本比率は45.0%となりました。

次期の見通し

今後の日本経済は、景気回復基調が持続し、雇用・所得環境の改善が図られ景気が緩やかに回復していくことが期待されます。特にインバウンド需要は、構造的な円安を背景に当面は力強く推移するものと見込まれます。一方で物価上昇の長期化に伴う消費マインドの停滞、中東情勢・ウクライナ情勢など地政学リスクの影響や日銀の金融政策による為替・金利など不透明なマクロ動向が国内の消費環境を停滞させる可能性もあります。

当社グループにおきましても、インバウンド需要の更なる拡大を好機と捉え、ホテル展開を軸としたプロパティ・ホテル事業を当社グループの重要な成長ドライバーと位置づけ注力して参ります。これに加え、化粧品健康

1株当たり配当金の推移



食品事業、グルメ事業、ナース関連事業といった消費マインドの影響を受けにくい専門的業務領域の成長を優先し安定的な拡大を進めます。アパレル・雑貨事業におきましては新規獲得を適正水準に戻し、リピート率も回復させることで事業規模と効率を改善しセグメント営業利益の早期黒字化を目指して参ります。

次期連結業績予想については、売上高は2,170.0億円、営業利益は115.0億円、経常利益は125.0億円、親会社株主に帰属する当期純利益は80.0億円となる見通しです。現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しの変動する場合には、速やかにお知らせします。

株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

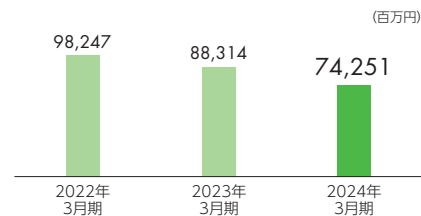
アパレル・雑貨事業

- ・ミセス層中心のカatalog、ネット通販
- ・モール展開 (RyuRyumall)
- ・ネット専業通販 (ミン・アイシーネット・丸長・セレクト)
- ・アパレル店舗 (BELLUNA)



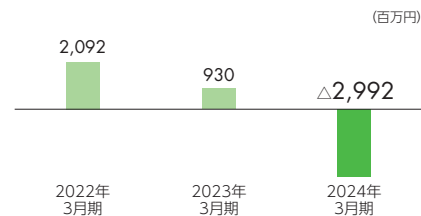
売上高

742.5億円 (前年同期比15.9%減)



セグメント利益

△29.9億円 (前年同期は9.3億円のセグメント利益)



円安の影響や原材料・資材の高騰を受け仕入原価及びカatalog・チラシ等の紙媒体費用が上昇したため、収益性の確保を優先し商品価格の見直しや紙媒体の発行数量の抑制を行いました。これにより新規顧客の獲得が減少し稼働顧客数も減少傾向となった結果、売上高は742.5億円 (前年同期比15.9%減) となり、セグメント損失は29.9億円 (前年同期は9.3億円のセグメント利益) となりました。

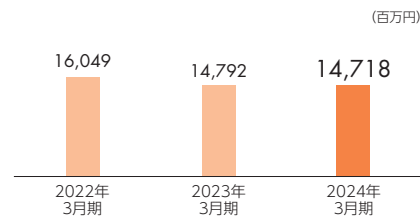
化粧品健康食品事業

- ・化粧品通販 (オージオ・なちゅライフ)
- ・健康食品通販 (リフレ)



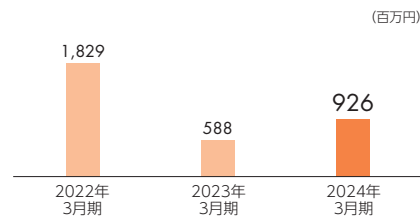
売上高

147.2億円 (前年同期比0.5%減)



セグメント利益

9.3億円 (前年同期比57.5%増)



化粧品事業においては、国内ECの新規顧客獲得が好調であったこと、国内卸売販売が拡大したことにより増収増益となりました。健康食品事業においては、通信販売の定期顧客数が減少したことなどにより減収となりましたが、収益性を重視した広告展開を行ったため増益となりました。この結果、売上高は147.2億円 (前年同期比0.5%減) となり、セグメント利益は9.3億円 (同57.5%増) となりました。

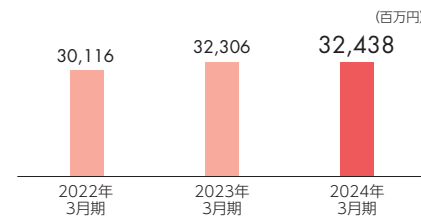
グルメ事業

- ・食品通販、日本酒通販
- ・ワイン通販



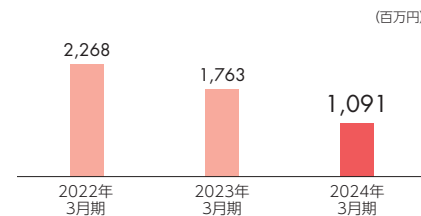
売上高

324.4億円 (前年同期比0.4%増)



セグメント利益

10.9億円 (前年同期比38.1%減)



新型コロナウイルス感染症の収束による外食・外飲みへの回帰影響などにより売上の伸長率が鈍化しました。また、円安の影響や原材料・資材の高騰を受け仕入原価が上昇し、一部商品の販売価格の見直しを行ったものの原価率は悪化しました。この結果、売上高は324.4億円 (前年同期比0.4%増) となり、セグメント利益は10.9億円 (同38.1%減) となりました。

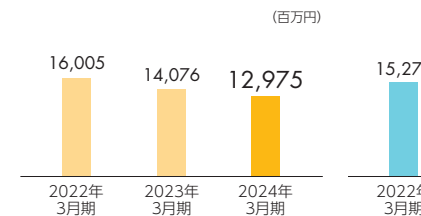
ナース関連事業

- ・看護師向け通販 (ナースリー・アンファミエ)
- ・看護師人材紹介 (ナースキャリアネクスト・JOB STUDIO)



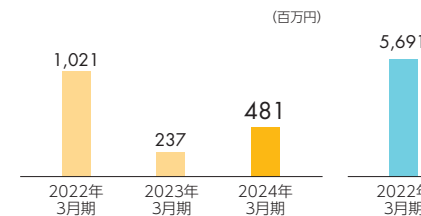
売上高

129.8億円 (前年同期比7.8%減)



セグメント利益

4.8億円 (前年同期比102.7%増)



各シーズンの紙媒体の発行部数の抑制や発行回数自体の見直しを行うなど収益性を重視しました。また、法人受注の獲得に注力したため受注件数も改善傾向となりました。この結果、売上高は129.8億円 (前年同期比7.8%減) となり、セグメント利益は4.8億円 (同102.7%増) となりました。

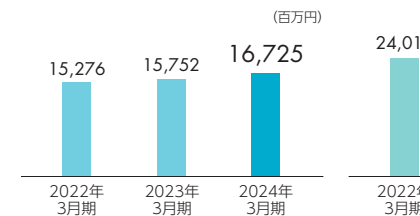
データベース活用事業

- ・封入・同送サービス (ペルーナダイレクト)
- ・通販代行サービス (BBS)
- ・会員向けファイナンス事業 (ペルーナノータス)
- ・物流3PL事業 (BGL・レーベル)



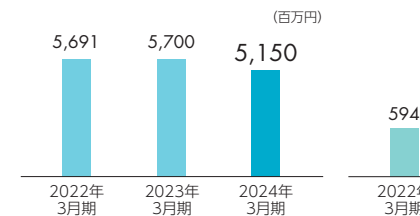
売上高

167.3億円 (前年同期比6.2%増)



セグメント利益

51.5億円 (前年同期比9.7%減)



封入・同送サービス事業においては、減収減益となりました。フルフィルメント受託サービス事業においては、増収減益となりました。ファイナンス事業においては、増収増益となりました。この結果、売上高は167.3億円 (前年同期比6.2%増) となり、セグメント利益は51.5億円 (同9.7%減) となりました。

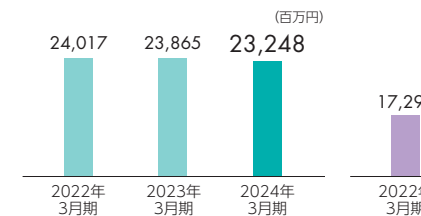
呉服関連事業

- ・和装店舗 (BANKANわものや・さが美・東京ますいわ屋)
- ・大学生の卒業式袴レンタル (マイム)



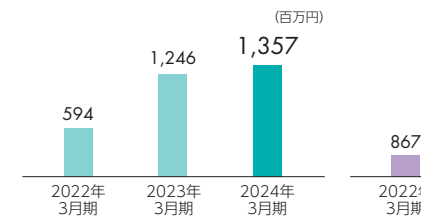
売上高

232.5億円 (前年同期比2.6%減)



セグメント利益

13.6億円 (前年同期比9.0%増)



和装販売事業においては、減収となったもののコスト削減を継続推進したことにより減収増益となりました。衣裳レンタル事業においては、増収増益となりました。この結果、売上高は232.5億円 (前年同期比2.6%減) となり、セグメント利益は13.6億円 (同9.0%増) となりました。

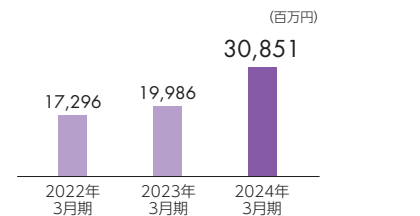
プロパティ・ホテル事業

- ・ホテル事業
- ・不動産事業 (オフィスビルなどの賃貸・開発・販売)
- ・太陽光発電事業



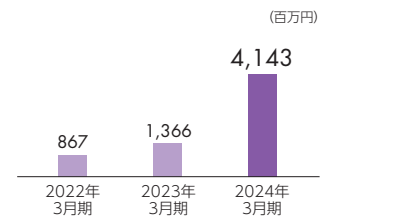
売上高

308.5億円 (前年同期比54.4%増)



セグメント利益

41.4億円 (前年同期比203.2%増)



新型コロナウイルス感染症の収束により国内旅行や出張・インバウンド需要が回復したこと、国内の新規ホテルが通期で業績に寄与したことなどもあり増収増益となりました。この結果、売上高は308.5億円 (前年同期比54.4%増) となり、セグメント利益は41.4億円 (同203.2%増) となりました。

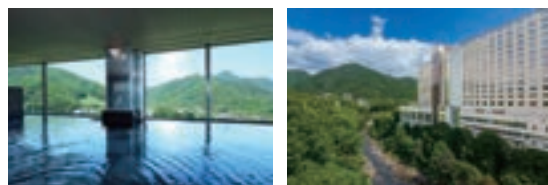
当社グループが運営するホテルやリゾートが 各種ランキング、Award等で続々受賞&入選！

当社子会社である株式会社グランベルホテルが運営するホテル、リゾート施設が、様々なランキングやAwardなどで高い評価を獲得しております。当社グループでは、これからもすべてのお客様にご満足いただけるワンランク上のサービスのご提供に取り組み、「お客様の衣食住遊を豊かにする商品やサービスの提供」という経営理念の実現に取り組んでまいります。

■ 2023年度 観光経済新聞社「人気温泉旅館ホテル250選」で「5つ星の宿」受賞！

定山溪ビューホテル

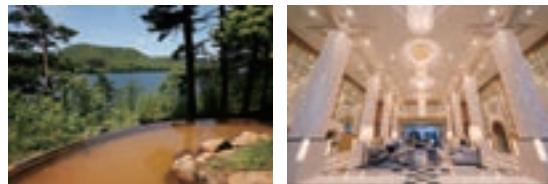
「人気温泉旅館ホテル250選」は、旅行業者など“旅のプロ”の投票によって決まる、観光経済新聞社の認定を受けた宿250選です。定山溪ビューホテルは「料理・接客・温泉浴場・施設・雰囲気」の全部門にてランクインし、通算5回以上の入選により「5つ星の宿」として認定されました。



■ 2023年度 観光経済新聞社「人気温泉旅館ホテル250選」理由別ベスト100に入選！

裏磐梯レイクリゾート

旅行業者など“旅のプロ”の投票によって、観光経済新聞社の認定を受けた宿250選が決まる「人気温泉旅館ホテル250選」の理由別ベスト100において、お客さまより高い支持を得た施設として『施設(79位)』『雰囲気(92位)』の2部門を受賞いたしました。



■ Booking.com「Traveller Review Awards 2024」を受賞！

京都グランベルホテル

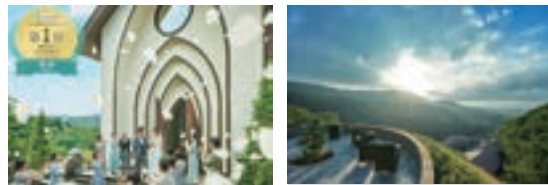
世界最大級の宿泊予約サイト「Booking.com」が主催し、数百万件を超える口コミスコアに基づいて、旅行者たちの忘れられない思い出に貢献した施設・企業に贈られる賞である「Traveller Review Awards 2024」を受賞いたしました。2022年、2023年に続いて3回連続の受賞となります。



■ 「みんなのウェディング2023年口コミランキング」8部門にて1位を受賞！

ルグラン軽井沢ホテル&リゾート ウェディング

日本最大級の結婚式場口コミ情報サイト「みんなのウェディング」発表の「みんなのウェディング 2023年口コミランキング」において、9部門にてランキング受賞。「長野県 全域 国内リゾート 総合」などを含む8部門にて1位を獲得し、総合1位を受賞いたしました。



ベルーナ自社コールセンターのオペレーター2名が 第62回電話対応コンクール全国大会で優秀賞を受賞

当社子会社である株式会社ベルーナコミュニケーションズが、公益財団法人日本電話ユーザ協会が主催する「第62回電話対応コンクール全国大会」において、自社コールセンターの川越オーダーレセプションセンターおよび千葉オーダーレセプションセンターから埼玉県・千葉県の各県代表として出場し、優秀賞を受賞しました。

「電話対応コンクール」は、各企業の社員の電話対応と対応技能のレベルアップを通じて、顧客満足経営の推進を図るための人材育成を目的として、公益財団法人日本電話ユーザ協会が全国で開催している大会です。

埼玉県代表として出場した川越オーダーレセプションセンター宇田川綾乃さんが6位、千葉県代表として出場した千葉オーダーレセプションセンターの下原里香さんが17位という結果で、全参加者6,316名の中から入賞者20名のメンバーに選ばれました。

今後も、お客様一人ひとりに親しみやすさを感じていただけるよう、「基本に忠実」にベストを尽くし「笑顔」をお届けできるコールセンターを目指してまいります。



埼玉西武ライオンズオフィシャルスポンサー10周年 7月20日(土)「べるーにゃドームデー」を開催予定！

当社グループは、埼玉西武ライオンズオフィシャルスポンサー契約を締結して以降、両社共同での球場イベント企画や、試合応援・お祝いセールキャンペーンの実施、ベルーナ公式キャラクター「べるーにゃ」とライオンズのコラボグッズ制作など、埼玉西武ライオンズへの精力的な応援を続けてきました。

埼玉西武ライオンズオフィシャルスポンサー10周年の節目の年を迎える2024年は、「べるーにゃ」がデザインされた西武ブルーユニフォームを来場者全員に配布するなど、例年よりさらにパワーアップした「べるーにゃドームデー」を開催。さらに、新作コラボグッズ制作、そのほかライオンズイベントの参加などを予定しています。

今後も、ベルーナのお客さま、ライオンズファンの皆さまと、スポーツやエンターテインメントを通じ地域振興をより一層盛り上げていけるよう取り組んでまいります。



当社では、株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝の気持ちを込めまして、株主優待制度をご用意しています。**1**「優待割引券、優待ポイント」または**2**「自社取扱商品」及び**2**「ベルーナグループが運営及び提携するホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ倶楽部、SPA & SAUNA コリドーの湯で使用できる優待割引券」をご利用いただけます。内容やご利用方法をご確認の上、ぜひご利用いただければ幸いです。今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主優待内容

1 「優待割引券、優待ポイント」または「自社取扱商品」から選択

1 当社運営の通信販売で使用できる優待割引券



2 ベルーナオンラインストアで使用できる優待ポイント



3 自社取扱の食品またはワインまたは日本酒



※お届け時期については株主様ご優待券をご参照ください

保有株式数	優待の内容 優待割引券、優待ポイントまたは自社取扱商品から選択
100株以上500株未満	1 1,000円分の通信販売優待割引券 2 1,000円分の優待ポイント 3 1,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒
500株以上1,000株未満	1 3,000円分の通信販売優待割引券 2 3,000円分の優待ポイント 3 3,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒
1,000株以上	1 5,000円分の通信販売優待割引券 2 5,000円分の優待ポイント 3 5,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒

2 「ベルーナグループが運営及び提携する国内全ホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ倶楽部、SPA & SAUNA コリドーの湯で使用できる優待割引券」から選択

ホテル	飲食店	その他
 GINZA HOTEL by GRANBELL	 銀座のステーキ	 小幡郷ゴルフ倶楽部 (群馬)

- ・洞爺サンパレス リゾート&スパ (北海道)
- ・ザ・レイクスweet湖の栖 (北海道)
- ・ニュー阿寒ホテル (北海道)
- ・定山渓ビューホテル (北海道)
- ・札幌グランベルホテル (北海道)
- ・すすきのグランベルホテル (北海道)
- ・山の神温泉優香苑 ※ (岩手)
- ・裏磐梯レイクリゾート (福島)
- ・ルグラン日軽井沢 (長野)
- ・ルグラン軽井沢ホテル&リゾート (長野)
- ・那須塩原ステーションホテル ※ (栃木)
- ・渋谷グランベルホテル ※ (東京)
- ・赤坂グランベルホテル ※ (東京)
- ※提携ホテル
- ・新宿グランベルホテル ※ (東京)
- ・恵比寿ホリックホテル ※ (東京)
- ・目黒ホリックホテル ※ (東京)
- ・赤羽ホリックホテル ※ (東京)
- ・京都グランベルホテル (京都)
- ・京都グランベルホテルhanareya (京都)
- ・大阪グランベルホテル (大阪)
- ・梅田ホリックホテル (大阪)
- ・ホテル浜比嘉島リゾート (沖縄)
- ・GINZA HOTEL by GRANBELL (東京)

保有株式数	優待の内容
100株以上500株未満	券面額 1,000円の割引券 2枚
500株以上1,000株未満	券面額 1,000円の割引券 6枚
1,000株以上	券面額 1,000円の割引券 10枚

※ご利用は現地決済に限り、事前決済は適用不可となります。
 ※ご利用方法は「株主様ご優待券」冊子のP10をご覧ください。

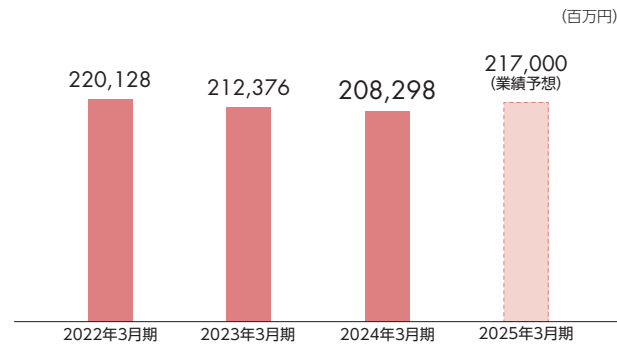
- ・銀座のステーキ 銀座本店 (東京)
- ・銀座のステーキ 銀座中央店 (東京)
- ・銀座のステーキ 渋谷店 (東京)
- ・銀座のステーキ 恵比寿店 (東京)
- ・銀座のステーキ 赤坂店 (東京)
- ・銀座の蕎麦屋 (東京)
- ・銀座焼肉 にく崎 (東京)
- ・鉄板料亭 銀座まつさか (東京)
- ・SPA & SAUNA コリドーの湯 (東京)
- ・小幡郷ゴルフ倶楽部 (群馬)
- ・SPA & SAUNA コリドーの湯 (東京)

発送時期・有効期限		
	発送時期	有効期限
期末	6月下旬	7月1日~12月31日
中間	12月上旬	12月1日~6月30日

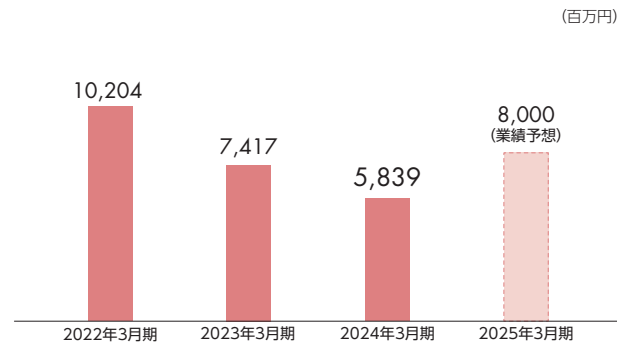
対象となる株主様

毎年3月末及び9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

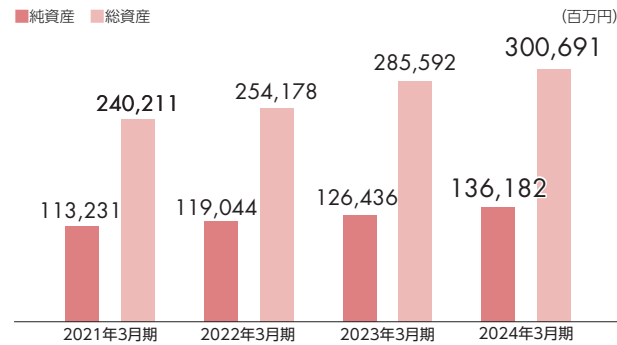
売上高



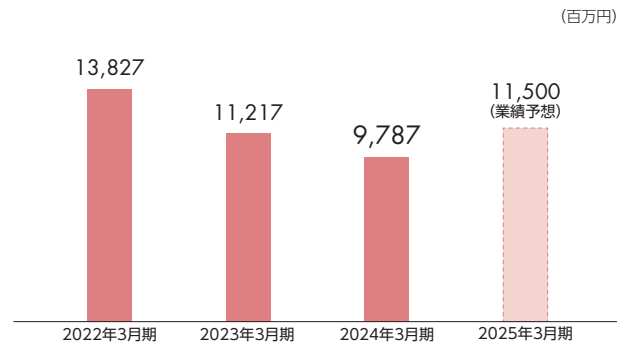
親会社株主に帰属する当期純利益



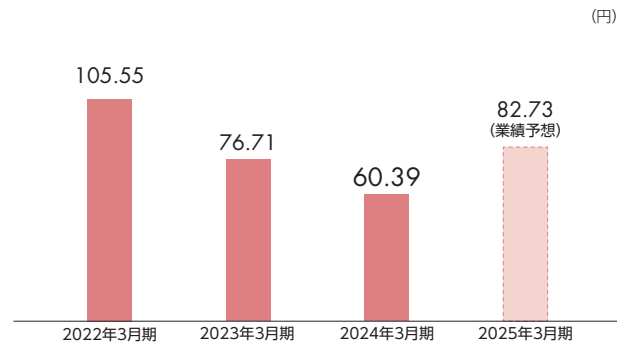
総資産・純資産



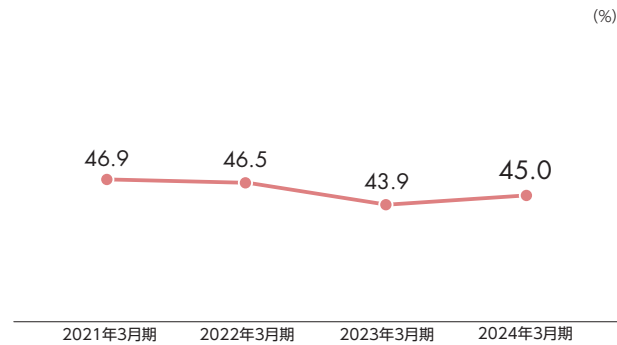
営業利益



1株当たり当期純利益



自己資本比率



連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当連結会計年度 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	122,664	129,961
固定資産	162,928	170,730
1 資産合計	285,592	300,691
負債・純資産の部		
流動負債	64,587	59,206
固定負債	94,568	105,302
2 負債合計	159,155	164,509
株主資本	129,765	133,652
その他の包括利益累計額	△4,268	1,539
非支配株主持分	940	990
3 純資産合計	126,436	136,182
負債純資産合計	285,592	300,691

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

1 資産合計

前期末に比べ15,099百万円増加しました。これは主に、流動資産において、現金及び預金、営業貸付金、その他の流動資産が増加したこと、また、固定資産において、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、リース資産が増加したことによるものです。

2 負債合計

前期末に比べ5,353百万円増加しました。これは主に、流動負債において、1年内償還予定の社債が増加したこと、また、固定負債において、長期借入金、リース債務が増加したことによるものです。

3 純資産合計

前期末に比べ9,745百万円増加しました。この結果、自己資本比率は45.0%となりました。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当連結会計年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日
売上高	212,376	208,298
売上総利益	125,701	126,345
営業利益	11,217	9,787
経常利益	12,459	11,831
税金等調整前当期純利益	11,953	9,772
法人税、住民税及び事業税	4,503	3,874
法人税等調整額	△6	180
当期純利益	7,456	5,717
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	39	△121
親会社株主に帰属する当期純利益	7,417	5,839

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当連結会計年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,241	12,770
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,924	△14,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,527	5,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	414	1,077
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,259	5,416
現金及び現金同等物の期末残高	31,828	37,245

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

第48回定時株主総会決議ご通知

2024年6月26日開催の当社第48回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

- 報告事項**
- 第48期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第48期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記事業報告、連結計算書類、計算書類の内容及び連結計算書類の監査結果を報告いたしました。

- 決議事項**
- 第1号議案 剰余金処分の件**
本件は、原案のとおり承認可決されました。第48期期末配当金は、1株につき10.25円と決定いたしました。

- 第2号議案 取締役(監査等委員であるものを除く。)5名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決されました。取締役(監査等委員であるものを除く。)に安野清、安野雄一郎、戸内順子、松田智博、宮下正義の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

- 第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決されました。監査等委員である取締役に浜本淳子氏が選任され、就任いたしました。 なお、浜本淳子氏は社外取締役であります。

■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億12百万円		
創設	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	3,825名 (連結)		
事業内容	カタログ、ネット等による通信販売を核に、実店舗、受託、金融、プロパティ、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	浜本 淳子
取締役	松田 智博		
取締役	宮下 正哉		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川崎市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)
大宮オーダーレセプションセンター	(埼玉県さいたま市)
A-GEOタウン	(埼玉県上尾市)
アリオボールオフィス	(埼玉県上尾市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	55,348名

■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	41,383	42.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,101	5.3
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,753	3.9
安野清	2,916	3.0
安野公	2,914	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,621	1.7
ベルーナ従業員持株会	1,085	1.1
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	816	0.8

※持株比率は自己株式 (545,429株) を考慮して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
17.7%	30.5%	44.4%	7.4%

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 3月31日

株式の売買単位 100株

電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

公告の方法

公告掲載 URL

<https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/>

株主名簿管理人

特別口座の口座

管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社

本店証券代行部

郵便物送付先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

お問合せ先 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)

上場金融

商品取引所 東京証券取引所プライム市場